

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
クラウンカップ	2019/4/3	SIII	川崎	1600m	ハイペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	サクセッサ	牡3	55	石崎駿	アドマイヤオーラ	サンデー系	ブラックタキシード	サンデー系	C	C	B	B	B	B	×1	
2	2	ダンサーパローズ	牡3	55	矢野	オルフェーヴル	サンデー系	デヒア	ノーザン系	A	A	B	C	B	B	▲	
3	3	トドビエン	牡3	55	酒井	エンパイアメーカー	ミスプロ系	Bernardini	ナスルーラ系	C	B	B	C	C	B	×3	
4	4	グラビテーション	牡3	55	今野	ベルシャザール	ミスプロ系	エンドスウィープ	ミスプロ系	B	C	A	A	B	A	○	
	5	フォルベルス	牡3	55	的場文	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アサティス	ノーザン系	D	C	B	B	C	C		
5	6	ブラックプリンス	牡3	55	張田	ダノンシャンティ	サンデー系	サウスヴィグラス	ミスプロ系	D	C	C	B	C	C		
	7	マイティウォーリア	牡3	55	真島	ロジユニヴァース	サンデー系	End Sweep	ミスプロ系	C	A	B	C	B	B	△3	
6	8	サーブルグロワール	牡3	55	森	エスポワールシチー	サンデー系	Malibu Moon	ナスルーラ系	C	A	C	C	C	C		
	9	トーセンアイアン	牡3	55	笹川	トーセンモナーク	サンデー系	シンボリクリスエス	ロベルト系	C	B	B	C	C	C		
7	10	マムティキング	牡3	55	柏木	バトルブラン	ミスプロ系	デュランダル	サンデー系	B	C	B	A	B	A	△1	
	11	ボールドユアハンド	牡3	57	左海	エスポワールシチー	サンデー系	ゼンノメイジン	ミスプロ系	A	B	A	C	B	B	×2	
8	12	カシノビート	牡3	55	御神本	タイキシャトル	ヘイロー系	マルゼンスキー	ノーザン系	B	A	B	B	B	B	△2	
	13	アギト	牡3	55	山崎	トゥザグローリー	ミスプロ系	ブライアンスタイム	ロベルト系	B	B	B	A	B	A	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
ダンサ マイテ ホール サーブ カシノ サクセ トーセ トドビ フォル グラビ アギト ブラッ マムテ ハイペース	<p>今年のクラウンカップは展開がガギになりそう。逃げるのはJ R Aから転入してきたダンサーパローズ。クラシックへの出走権を確保するためにも、ここは是非でも2着以内が欲しいところ。内目の2枠2番を引いた以上、ハナを奪ってどこまで粘れるか…という形になりそう。そのダンサーパローズを追いかけのがホールドユアハンド。前走京浜盃は2番手追走から伸び切れずに敗退。今回は主戦の左海騎手に乗り替わり、自分の形に徹しそう。内からダンサーパローズが主張すれば、2番手に留まるかもしれないが、左海騎手らしくスタートから押していき、「あわよくばハナを奪いたい」スタイルで乗ってくるだろう。以下、トドビエン、マイティウォーリア、カシノビートらも前々で追走。クラシックへの出走権がかかったレースということを考えても、生ぬるいレースにはならないだろう。道中にしっかりと脚を溜められて直線でひと脚使えそうな馬から入りたい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は展開さえ向けば、アギトが確実に追い込んでくるはず。(以下省略)</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	サクセッサ	×1	アドマイヤオーラ産駒らしい堅実さがウリ。近2走ではホールドユアハンドに完敗しているが、相手なりに走るのには本馬の方で展開次第でホールドユアハンドとの着順が入れ替わっても不思議ではない。		
2	2	ダンサーパローズ	▲	前走500万下はまさかの大敗を喫したが、前半1000m通過62.0秒のハイペースで飛ばし過ぎた上、最後は鞍上も流しており、参考外の一戦と捉えて良さそう。2走前のもちの木賞ではノーヴァレンダの2着に好走。南関東限定の重賞ならあっさり突破しても何ら不思議ではない。		
3	3	トドビエン	×3	前走クラシックトライアルは差し、追い込み決着の中、負けて強しの3着。ここに来て力をつけているのは間違いなく、人気がないなら押さえておきたい。		
4	4	グラビテーション	○	前走京浜盃は直線でオーシャンブラックの斜行の影響を受けた1頭。そもそも近2走は位置取りが悪く、レースにはほとんど参加できていなかった。差し馬ながら非常に器用な立ち回りができるので、川崎コースでも問題ないタイプ。前述の通りハイペースからの消耗戦になれば、ここでガラリ変があってもいい。		
	5	フォルベルス		特別戦で足踏みが続いている現状。重賞では荷が重いだらう。		
5	6	ブラックプリンス		新馬勝ち後、2戦とも大敗。重賞で通用するレベルではない。		
	7	マイティウォーリア	△3	今年に入ってオープン特別で勝ち切れていないが、2走前の勝ち馬は京浜盃を制したステッペンwolfで、前走の勝ち馬グリードバルフェもこのレースに出走していれば、上位人気に推されていたはず。展開は厳しくなりそうだが、無理に前を追いかけてあげれば、上位争いに加わってもいい。		
6	8	サーブルグロワール		これまで勝利を挙げた3戦はすべて1300m以下。エスポワールシチー×Malibu Moonのスピード型。マイルは本質的に長いはず。		
	9	トーセンアイアン		今年初戦の花見月特別では8頭立ての8着と大敗。2歳時のレースぶりからもっと走ってもいいが、前走の大敗ぶりを見ると、過度に期待しない方がいいだろう。		
7	10	マムティキング	△1	差し、追い込みが決まるなら要注意。近2走は案外の結果に終わっているが、3走前のミュージアークアップではより最速タイの脚を使い、勝ち馬トーセンゲネットから0.5秒差の4着に健闘。左回りの方が合っている可能性はあり、コース替わりで巻き返しがあるかもしれない。		
	11	ボールドユアハンド	×2	地方に転入後、コーナー4回の1500~1600mでは3戦3勝。得意条件ではあるが、今回は同型に強力なダンサーパローズがいるので、決して楽な展開には持ち込めないだろう。斤量57キロ（他馬より2キロ重い）もやや引っかかる。		
8	12	カシノビート	△2	2走前のアングレカム賞で初勝利を挙げると、続くムスカリ特別ではこれまでの詰めの甘さを払拭する圧巻の勝ちっぷり。ここに来て本格化の兆しを見せており、相手がさらに強くなっても楽しみの方が大きい。レースセンスが高いので、初の川崎コースでも難なく対応できるのではないかな。		
	13	アギト	◎	前走京浜盃で初めて掲示板外に敗れたが、直線入り口でオーシャンブラックが外側に斜行してきた影響を受け、余分に外を回らされたのが響いた感じ。それでもやはり5位タイでまとめており、レース内容は決して悪くなかった。最近の大井は外差しが決まりづらい面もあり、近2走は馬場も合わなかったのだから		